

人文社会科学部 法学専攻(博士後期課程)

演習科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DL300	公法演習Ia	1	1.5	1-3					アメリカの憲法と行政法の基本を学ぶ。	2018年度開講せず。
02DL301	公法演習Ib	1	1.5	1-3					アメリカの憲法と行政法の基本を学ぶ。	2018年度開講せず。
02DL302	公法演習IIa	2	1.5	1-3	春ABC	応談		辻 雄一郎	アメリカの憲法と行政法の基本をケースブックを利用して学ぶ。	
02DL303	公法演習IIb	2	1.5	1-3	秋ABC	応談		辻 雄一郎	アメリカの憲法と行政法の基本をケースブックを利用して学ぶ。	
02DL330	民法法総合演習I	2	4.0	1-3					民法を中心とする民法全般について、理論的実務的双方の観点から検討を加える。進行としては、年度当初に極めて大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備した上で、夏休み及び冬休みに集中的に検討を行うこととする。	2018年度開講せず。
02DL331	民法法総合演習II	1	4.0	1-3	通年	応談		星野 豊	民法を中心とする民法全般について、理論的実務的双方の観点から検討を加える。進行としては、年度当初に極めて大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備した上で、夏休み及び冬休みに集中的に検討を行うこととする。	
02DL340	民法特別演習Ia	1	1.5	1-3					私法体系の基礎を形成しているローマ法について検討する。	2018年度開講せず。
02DL341	民法特別演習Ib	1	1.5	1-3					私法体系の基礎を形成しているローマ法について検討する。	2018年度開講せず。
02DL342	民法特別演習IIa	2	1.5	1-3	春ABC	応談		宮坂 渉	私法体系の基礎を形成しているローマ法について検討する。	
02DL343	民法特別演習IIb	1	1.5	1-3	秋ABC	応談		宮坂 渉	私法体系の基礎を形成しているローマ法について検討する。	
02DL380	刑事訴訟法特別演習Ia	2	1.5	1-3					刑事証拠法における重要な論点を検討する。	2018年度開講せず。
02DL381	刑事訴訟法特別演習Ib	2	1.5	1-3					刑事証拠法における重要な論点を検討する。	2018年度開講せず。
02DL382	刑事訴訟法特別演習IIa	1	1.5	1-3	春ABC	応談		守田 智保子	刑事証拠法における重要な論点を検討する。	
02DL383	刑事訴訟法特別演習IIb	4	1.5	1-3	秋ABC	応談		守田 智保子	刑事証拠法における重要な論点を検討する。	
02DL390	裁判実務特別演習Ia	2	1.5	1-3					実際の紛争事例を基に、当事者の主張・立証からどのように事実認定していくかを検討してもらうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらうことを目標とする。	2018年度開講せず。
02DL391	裁判実務特別演習Ib	2	1.5	1-3					実際の紛争事例を基に、当事者の主張・立証からどのように事実認定していくかを検討してもらうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらうことを目標とする。	2018年度開講せず。
02DL392	裁判実務特別演習IIa	2	1.5	1-3	春ABC	応談		根本 信義	実際の紛争事例を基に、当事者の主張・立証からどのように事実認定していくかを検討してもらうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらうことを目標とする。	
02DL393	裁判実務特別演習IIb	1	1.5	1-3	秋ABC	応談		根本 信義	実際の紛争事例を基に、当事者の主張・立証からどのように事実認定していくかを検討してもらうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらうことを目標とする。	

専門法律科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DL510	公法研究Ia	4	1.5	1-3					最新の公法判例を検討する。	2018年度開講せず。
02DL511	公法研究Ib	4	1.5	1-3					最新の公法判例を検討する。	2018年度開講せず。
02DL512	公法研究IIa	4	1.5	1-3	春ABC	応談		辻 雄一郎	最近のアメリカの最高裁判例を選び、検討する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DL513	公法研究IIb	1	1.5	1 - 3	秋ABC	応談		辻 雄一郎	最近のアメリカの最高裁判例を選び、検討する。	
02DL530	民法特殊研究I	4	4.0	1 - 3					民法に関する特殊な問題点と基礎的理論との関係について重点的に検討する。進行としては、年度当初に極めて大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備したうえで、夏休み及び冬休みに集中的に検討を行うこととする。	2018年度開講せず。
02DL531	民法特殊研究II	4	4.0	1 - 3	通年	応談		星野 豊	民法に関する特殊な問題点と基礎的理論との関係について重点的に検討する。進行としては、年度当初に極めて大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備したうえで、夏休み及び冬休みに集中的に検討を行うこととする。	
02DL540	民法研究Ia	4	1.5	1 - 3					民法の基本的な問題について、法制史ならびに比較法の視点をも踏まえて、総合的に考察する。	2018年度開講せず。
02DL541	民法研究Ib	4	1.5	1 - 3					民法の発展的な問題について、法制史ならびに比較法の視点をも踏まえて、総合的に考察する。	2018年度開講せず。
02DL542	民法研究IIa	4	1.5	1 - 3	春ABC	応談		宮坂 渉	民法の基本的な問題について、法制史ならびに比較法の視点をも踏まえて、総合的に考察する。	
02DL543	民法研究IIb	4	1.5	1 - 3	秋ABC	応談		宮坂 渉	民法の発展的な問題について、法制史ならびに比較法の視点をも踏まえて、総合的に考察する。	
02DL580	刑事訴訟法研究Ia	4	1.5	1 - 3					刑事証拠法に関する近時の判例を検討する。	2018年度開講せず。
02DL581	刑事訴訟法研究Ib	4	1.5	1 - 3					刑事証拠法に関する近時の判例を検討する。	2018年度開講せず。
02DL582	刑事訴訟法研究IIa	4	1.5	1 - 3	春ABC	応談		守田 智保子	刑事証拠法に関する近時の判例を検討する。	
02DL583	刑事訴訟法研究IIb	4	1.5	1 - 3	秋ABC	応談		守田 智保子	刑事証拠法に関する近時の判例を検討する。	
02DL590	裁判実務特別研究Ia	4	1.5	1 - 3					民法における要件事実の考え方を学び、主張立証責任を考慮した民法の法条の解釈適用が行えるようになることを目標とする。	2018年度開講せず。
02DL591	裁判実務特別研究Ib	4	1.5	1 - 3					民法における要件事実の考え方を学び、主張立証責任を考慮した民法の法条の解釈適用が行えるようになることを目標とする。	2018年度開講せず。
02DL592	裁判実務特別研究IIa	4	1.5	1 - 3	春ABC	応談		根本 信義	民法における要件事実の考え方を学び、主張立証責任を考慮した民法の法条の解釈適用が行えるようになることを目標とする。	
02DL593	裁判実務特別研究IIb	1	1.5	1 - 3	秋ABC	応談		根本 信義	民法における要件事実の考え方を学び、主張立証責任を考慮した民法の法条の解釈適用が行えるようになることを目標とする。	